

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201600266 2016-1038 2016/08/06 (事故発生地) 東京都	電気掃除機 ダイソン (株) SV07	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品は、バッテリーパックが著しく焼損していた。○バッテリーパック内部の基板は著しく焼損し、基板中央部が焼失し、トランジスタ等の複数の電気部品が脱落していた。○バッテリーパック内部のリチウムイオン電池セル6個に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品の充電器の外観及び出力に異常は認められなかった。○モーター回転軸に固着は認められず、モーター基板は焼損はしていなかった。○バッテリーパック側面にはスリット状の通気口が設けられていた。○事故発生2日前に使用者が当該製品のフィルター及びダストボックスを洗浄した際、当該製品に水が掛かった。●当該製品はバッテリーパック内部の基板上でトラッキング現象が生じて出火したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、一部が焼失して確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2016/08/22)
A201600483 2016-1728 2016/11/17 (事故発生地) 山口県	電気洗濯機 LG電子ジャパン(株)(現 LG Electronics Japan(株)) WF-55WLB	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品の焼損は著しく、金属部品以外は焼失しており、基板や内部配線等は確認できなかった。○モーター用コンデンサーの接続端子に溶融痕が認められた。○当該製品は屋外に設置されていた。○取扱説明書には、「風雨にさらされる場所に置かない。」旨、記載されていた。●当該製品のモーター用コンデンサーの接続端子が異常発熱して出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、当該製品が屋外に設置されていた影響も考えられ、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2016/11/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201600705 2016-2279 2017/01/00 (事故発生地) 東京都	電気こんろ 三化工業(株) S I H - C 2 2 4 A	当該製品を汚損し、周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は当該住宅への入居準備中であり、当該製品を使用したことはなく、事故発生時は不在であった。○当該製品のラジエントヒーター上に置かれていた樹脂製トレイとトレイ上の可燃物等が焼損していた。○トッププレート、操作部及び本体内部に異常は認められなかった。○ラジエントヒーターの動作を確認したところ、異常は認められなかった。○電源スイッチは、自動オフ機能を備えていなかった。○加熱スイッチは電源スイッチに隣接して配列されており、電源スイッチがオンの状態で1秒以上押されるとオン状態となるが、5秒以上押し続けると通電を停止する構造であった。○事故発生現場では、猫(2匹)が放し飼いにされていた。●当該製品のスイッチが意図せず入ったため、ラジエントヒーターが通電状態となり、上に置いていた可燃物が出火したものと考えられるが、事故発生時の詳細な使用状況等が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/02/21)
A201600731 2016-2283 2017/01/20 (事故発生地) 兵庫県	電気毛布 (株)広電(株)山善ブランド YMS-13(株)山善ブランド	当該製品を使用中、両足に低温火傷を負った。	調査の結果、○当該製品を使用して約6時間就寝し、朝起きると両足首の後側が水ぶくれになっていた。○当該製品は、検知線付ヒーター線が足元側の1か所でループ状に重なっており、設定温度が「強」の場合は、その重なった部分の温度(61℃)は他の部分(52℃)よりも温度が高くなっていった。○ヒーター線は、縫製された生地との縫い目を通す構造であり、接着はされていなかった。○取扱説明書には、「比較的低い温度でも、皮膚の同じ箇所が長時間触れていると、低温火傷に至ることがある。」旨、記載されている。○当該製品に同梱の注意事項に記載した紙には、「しわができないよう1日1回本体を広げ直す。」、「しわ等でヒーター線によじれができると部分的に温度が上昇し、低温火傷を起こす場合がある。」、「しわをのびし、ヒーター線によじれがないことを確認する。」旨、記載されているが、外観ではヒーター線の偏りやループが確認できなかった。○就寝時における当該製品の温度設定や足との接触位置等、詳細な使用状態は不明であった。●当該製品を長時間足に接触させて使用したため、低温火傷を負ったものと推定されるが、当該製品の温度設定や足との接触位置等、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/03/02)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201600791 2017-0007 2017/03/12 (事故発生地) 千葉県	電気冷温風機 ダイソン(株) HP01	当該製品を延長コードに接続して使用していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の電源プラグは、1口の延長コードを介して壁コンセントに接続されていたが、事故発生時の動作状況は不明であった。○電源プラグが著しく焼損していた。○電源プラグの栓刃及び電源プラグに接続されていた延長コードのコードコネクターボディは使用者によって廃棄されており、確認できなかった。○電源プラグ部以外に異常は認められず、電源コードを交換したところ、問題なく動作した。○取扱説明書には、「延長コードを使用しない。電源コードが異常発熱して火災の原因になる。」旨、記載されている。●当該製品の電源プラグと延長コードのコードコネクターボディの接続部付近で異極間短絡が生じて電源プラグの樹脂部が炭化し、焼損したものと考えられるが、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/03/28)
A201700026 2017-0098 2017/03/12 (事故発生地) 埼玉県	携帯電話機(スマートフォン) Apple Japan(同) iPhone 6s MK QQ2J/A	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、他社製充電器及び他社製ケーブルを接続して充電されていた。○当該製品の焼損は著しく、アルミ製カバーの背面上側が溶融しており、内蔵リチウムイオン電池セルが露出していた。○リチウムイオン電池セルは著しく焼損し、出火の痕跡の有無は確認できなかった。○内部の基板及び電池セルの保護回路基板は著しく焼損し、出火の痕跡の有無は確認できなかった。●当該製品の焼損は著しく、詳細な状況が確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/04/13)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201700120 2017-0440 2017/05/22 (事故発生地) 広島県	電気ポンプ（井戸用） 三菱電機（株）（現 テラ ル多久（株）が事業承継） EP-156A-1	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品は、接続された配管の保温材が焼失し、本体外面が焼損した状態であった。○制御基板の電源端子台及び接続された電源ケーブルが著しく焼損しており、電源ケーブルを接続する端子台ねじ部の座金が溶融していた。○モーター、コンデンサー、電源コード及びその他の電気部品に異常は認められなかった。○当該製品は、内部の配線に布が巻かれ、外部に布が掛けられた状態であった。●当該製品は制御基板の電源端子台においてトラッキング現象が発生し焼損したものと推定されるが、トラッキング現象に至った原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/01)
A201700160 2017-0565 2017/06/03 (事故発生地) 千葉県	ルーター（パソコン周辺機器） NECプラットフォームズ (株)（東日本電信電話 (株)ブランド） PR-400NE（東日本 電信電話(株)ブランド）	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(A201700168と同一事故) (火災)	調査の結果、○当該製品は他社製の光回線終端装置に組み込んで使用する製品で、光回線終端装置の外郭も含めて著しく焼損していた。○当該製品の基板全体が著しく焼損し、両面ともに基材のガラス繊維組織が露出していたが、穴空き、欠損は認められなかった。○当該製品はコネクタ類が焼失し、多数の電子部品が脱落しており、確認できなかった。○微細な銅箔パターンには、随所に基材からはく離が認められ、溶断箇所の有無は確認できなかった。○他社製の終端装置の電源基板から供給される電源用の配線及びコネクタに断線、溶融痕等は認められなかった。○その他の残存する電気部品、銅箔パターンに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/22)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700163 2017-0566 2017/06/06 (事故発生地) 大阪府	電気あんか 森田電工(株)(現(株) ユーイング) MA-40B	施設で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が重傷を負った。	調査の結果、○使用者が当該製品を腰から背中付近に敷いて使用していたところ、着衣の背中に着火した。○本体側電源コード根元のコードプロテクターが欠損しており、本体から約4cm付近で電源コードの芯線の片側が断線し、絶縁被覆が焼失していた。○本体ケース内部に焼損は認められず、内部の電気部品に異常は認められなかった。○当該製品は、製造から30年経過しており、事故発生の4か月前に中古品として購入されたものであった。●当該製品は、電源コードの芯線が半断線したことで、スパークを生じて出火したものと推定されるが、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/23)
A201700164 2017-0487 2017/05/13 (事故発生地) 大阪府	携帯電話機(スマートフォン) サムスン電子ジャパン(株) (株)NTTドコモブランド) SC-04F(株)NTTドコモブランド)	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者が当該製品の充電を開始してから約2時間30分後、破裂音とともにバッテリーパックが本体から飛び出し出火した。○当該製品の背面カバーの一部が溶融、破損し、バッテリーパックが著しく焼損していた。○パック内のリチウムイオン電池セルの電極は中央部付近で周期的に焼損していた。○パック内部の基板に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品本体に割れ、変形等、強い衝撃が加わった痕跡は認められず、同等品のバッテリーパックを取り付けたところ正常に動作した。○当該製品は使用者によりバッテリーの脱着が可能な機種であったが、これまでにバッテリーパックの交換及びバッテリーカバーの脱着は行っていないとの申出内容であった。●当該製品はバッテリーパック内部のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/23)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 日 受 付 年 月 日
A201700168 2017-0571 2017/06/03 (事故発生地) 千葉県	光回線終端装置（パソコン周辺機器） 三菱電機（株）（東日本電信電話（株）ブランド） GE-PON<M>E G E-PON-ONUタイプ G<1>2（東日本電信電話（株）ブランド）	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（A20170565と同一事故）	調査の結果、○当該製品の外郭は焼失していた。○ONU基板に穴空き、欠損は認められなかったが、著しく焼損し、コネクタ、チップ部品が脱落し、確認できなかった。○電源基板に穴空き、欠損、銅箔パターンの溶断部位は認められなかったが、電解コンデンサ、ONU基板への電源コネクタ等が脱落しており、確認できなかった。○電源基板とONU基板を接続する配線に断線箇所は認められなかった。○当該製品のACアダプターは著しく焼損し、外郭は焼失していたが、基板の穴空き、欠損は認められなかったほか、電解コンデンサの防爆弁作動による電解液噴出の痕跡も認められなかった。○ACアダプターのDC出力端子及びコード、ACコードに溶融痕は認められなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/23)
A201700186 2017-0626 2017/06/12 (事故発生地) 大分県	エアコン（室外機） 三菱電機（株） MSZ-DX28J	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は故障してファンモーターが動かない状態だったため、修理業者が確認のため天板を外したところ、数十秒後にインバーター基板付近から出火した。○インバーター基板上のファンモーター駆動用パワー素子、ファンモーター駆動用IC付近が焼損しており、ファンモーター駆動用パワー素子が著しく焼損していた。○パワー基板やファンモーター等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○インバーター基板上に故障履歴としてファンモーター停止異常履歴が記録上限の255回分記録されていたが、詳細な使用状況は特定できなかった。●当該製品のファンモーター駆動用パワー素子から出火したものと推定されるが、パワー素子の焼損が著しく、また、修理業者の作業内容及び故障履歴の詳細が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/06/30)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201700218 2017-0727 2017/06/15 (事故発生地) 大阪府	携帯電話機（スマートフォン） HTC NIPPON（株） （KDDI（株） auブランド） HTV32（KDDI（株） auブランド）	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品のケース上部が大きく開口し、内蔵のリチウムイオン電池セルが本体外へ飛び出していた。○電池セルの右側面にへこみがあり、へこみを起点とした出火の痕跡が認められ、電極が電池セルのへこみに対応する箇所へ欠損していた。○バッテリーパック等の金属固定板が、電池セルのへこみと同じ箇所へ、電池セル側に向かって凸状に変形していた。○パック内部の制御基板に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品本体に出火の痕跡は認められなかったが、裏ケースには落下によると思われる傷やへこみが認められた。○使用者は当該製品を落下させたことはあるが、画面が割れる等の衝撃を与えたり、分解や改造を行ったりはしていないとの申出内容であった。●当該製品は、内蔵のリチウムイオン電池セルが内部短絡して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、外力による影響も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/07/18)
A201700220 2017-0729 2017/05/19 (事故発生地) 広島県	エアコン ダイキン工業（株） ATR63HPE4-W	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は著しく焼損し、可燃部は全て焼失しており、電源コードは壁コンセント及び当該製品の端子台部に接続された状態で焼け残っていた。○電源コード、ファンモーター、フラップモーター等の確認できた部品に出火の痕跡は認められなかった。○制御基板は確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、制御基板等の確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/07/19)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700245 2017-0900 2017/07/12 (事故発生地) 東京都	電気炊飯器 三洋電機(株)(三菱電機 ホーム機器(株)ブランド) NJ-G6S(三菱電機ホ ーム機器(株)ブランド)	当該製品を使用中、当該製品及び周辺 を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○使用者は、日常的に電源プラグを抜き差ししていた。○当該製品は電源プラグ部のみ焼損しており、コードリールを交換後、正常に動作した。○電源プラグ内部のカシメ部付近で芯線が断線し、断線部に溶融痕が認められた。○電源プラグの栓刃と芯線のカシメ部は残存していたが、詳細な確認はできなかった。○電源プラグの根元部分で芯線の一部にねじれと断線が認められた。●当該製品は電源プラグ内部において、芯線の断線、スパークが生じて内部の樹脂を徐々に炭化させ、トラッキング現象により出火に至ったものと考えられるが、芯線が断線した原因は不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/07/28)
A201700271 2017-0968 2017/07/11 (事故発生地) 神奈川県	携帯電話機(スマートフ ォン) Apple Japan(同) iPhone6 MG4F 2J/A	事務所で当該製品及び周辺を焼損する 火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品を机の上に置いていたところ、発煙した。○当該製品外観は、液晶パネルにひび割れがあり、上面の嵌合が破損して隙間が空いた状態であった。○本体四角にへこみ、傷又は著しい破損は認められなかった。○内蔵リチウムイオン電池セルは上側面が開口しており、外装の表面には上側面から波状のひずみが発生し著しく焼損していた。○電池セルの取付け状態等、詳細な焼損状況は確認できなかった。○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、事故発生以前の詳細な使用状況が不明なことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/08/08)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201700366 2017-1053 2017/08/15 (事故発生地) 大阪府	電気湯沸器 タイガー魔法瓶 (株) PVW-A300	当該製品を使用中、当該製品からお湯が噴出し、火傷を負った。 (重傷)	調査の結果、○使用者が当該製品を使用していたところ、蓋が開いて湯が噴出したとの申出内容であった。○当該製品は、電動式給湯レバーが破損しており、外郭側面に大きなへこみと、上蓋のヒンジ部と本体底部に傷がある状態であった。○タンク内の満水目盛よりも13mm上まで茶色に変色していた。○当該製品の蓋の嵌合状態は確認できなかった。○同等品を用いてタンク内の水位を満水目盛よりも25mm上(ほぼ容器全てに水が満たされている状態)まで給水し、湯沸かしを行ったところ、湯沸かし中に吐出口及び蒸気口から湯が約380ml吹きこぼれたが、蓋が開くことはなかった。○取扱説明書には、「タンク内に満水目盛以上の水を給水すると、吹きこぼれや火傷の原因となる。」旨、記載されていた。●当該製品のタンク内において、満水目盛を超える位置まで給水されていた痕跡が認められたが、事故発生時の詳細な使用状況が不明であり、蓋の嵌合状態を確認できず、蓋が開く状況が再現しなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/09/19)
A201700372 2017-1230 2017/09/04 (事故発生地) 京都府	パワーコンディショナ (太陽光発電システム用) オムロン (株) KP55K2	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(A201700387と同一事故) (火災)	調査の結果、○事故発生現場では、壁面に固定されたベニヤ合板に、当該製品を含むパワーコンディショナ3台が下段に並べて設置されており、上段には交流側の漏電用遮断器3台、交流側の配線用遮断器1台、データ送信機1台及び接続箱3台が並べて設置されていた。○当該製品は基板自体に穴空きや局所的な損傷は認められず、電流ヒューズは切れていなかったが、電気部品の大部分が焼失していた。○残存するフィルムコンデンサーは著しく焼損しており、原形をとどめていなかった。○端子台の樹脂部は焼失し、電線が一部脱落していたが、端子接続部に出火の痕跡は認められなかった。○事故発生現場に設置されていた当該製品以外の接続箱や各遮断器等も全体的に著しく焼損していた。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/09/21)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700387 2017-1337 2017/09/04 (事故発生地) 京都府	接続箱（太陽光発電システム用） 河村電器産業（株） PVL-OM-04VA	店舗で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(A201700372と同一事故)	調査の結果、○事故発生現場では、壁面に固定されたベニヤ合板に、パワーコンディショナ3台が下段に並べて設置されており、上段には交流側の漏電用遮断器3台、交流側の配線用遮断器1台、データ送信機1台及び当該製品を含む接続箱3台が並べて設置されていた。○当該製品が3台中で最も焼損が著しく、サージアブソーバーの端子接続部が焼失してヒューズが溶断していたが、内部短絡の痕跡は認められなかった。○当該製品内部の4個の直流開閉器の電線との端子接続部はすべて接続状態にあったが、一部の部品に溶融が認められた。○事故発生現場に設置されていた当該製品以外のパワーコンディショナや各遮断器等も全体的に著しく焼損していた。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/09/29)
A201700391 2017-1351 2017/09/10 (事故発生地) 神奈川県	扇風機 (株)千住 BT-8ZS	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品の支柱を含む台座から上部の樹脂部分は著しく焼損していた。○台座からの出火の痕跡は認められなかった。○モーター及び起動用コンデンサーに出火の痕跡は認められなかった。○電源コードは、電源プラグから約15cm付近で断線し、溶融痕が認められたが、通常の使用において外力が加わらない位置であった。○当該製品の台座より上部の首振機構部等の内部配線は確認できなかった。●当該製品の焼損は著しく、内部配線等の確認できない電気部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/02)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201700417 2017-1413 2017/09/15 (事故発生地) 滋賀県	電気冷蔵庫 大宇販売(株) DR-T23BW	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。現場に当該製品があった。 (火災 死亡)	調査の結果、○当該製品は著しく焼損しており、金属部品だけが残っていた。○当該製品の残存する電源コード及び内部配線は、絶縁被覆が全て焼失して数箇所断線していたが、断線部に溶融痕は認められなかった。○コンプレッサー及び始動リレーに異常は認められなかった。○コンデンサー、除湿タイマー、ファンモーター及び庫内灯は確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、コンデンサー等の確認できない部品もあったことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/12)
A201700422 2017-1415 2017/09/17 (事故発生地) 東京都	延長コード (株) オーム電機 HS-T1153W	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品の可動式電源プラグ部が焼損しており、栓刃の片極が可動部のカンメ部から脱落していた。○脱落した栓刃及び栓刃間の可動樹脂の確認はできなかった。○栓刃が脱落した極の栓刃可動部に炭化物の付着等、異常発熱の痕跡が認められた。○当該製品が接続されていた壁コンセントは、片極の刃受金具に広がりが認められた。●当該製品の電源プラグの栓刃可動部が異常発熱し、焼損したものと推定されるが、栓刃等の部品が確認できず、事故発生以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/13)
A201700432 2017-1433 2017/10/03 (事故発生地) 東京都	延長コード 大和電器(株)(エレコム(株)ブランド) T3091(エレコム(株)ブランド)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品のタップ部に電気ポットの電源プラグを接続し、湯を沸かし始めたところ、異臭がして発煙し、電源プラグ部と当該製品を接続していた壁コンセント(事業者等詳細不明)を焼損した。○当該製品は、電源プラグ部が焼損し、片側の栓刃は溶融欠損していたが、その他の部分に異常は認められなかった。○壁コンセントは、溶融欠損した栓刃が差し込まれていた側を中心に焼損が著しかった。○壁コンセントの刃受金具に著しい広がりが確認された。○当該製品は、電源プラグ部以外に焼損は無く、異常は認められなかった。●当該製品の電源プラグとコンセントの接続部において接触不良が生じて発熱し、出火したものと推定されるが、電源プラグの栓刃の焼損状態が確認できないことから、製品起因が否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/17)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700435 2017-1446 2017/10/03 (事故発生地) 千葉県	電気洗濯乾燥機 日立アプライアンス(株) BD-SV110AL	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○事故当日、使用者は洗濯乾燥コースで洗濯を開始後に外出しており、事故発生時、住宅は無人であった。○当該製品は、操作パネル、ドア、天板、正面下部の外郭樹脂、天板上の洗濯物及び洗濯ドラム内の洗濯物が焼損していた。○PTCヒーター、メインモーター、循環ポンプモーター等に出火の痕跡は認められなかった。○電源基板、内部配線及び電源コードに出火の痕跡は認められなかった。○操作パネル及び表示基板は著しく焼損し、出火の痕跡の有無は確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、事故発生時の詳細な状況が不明であり、焼損が著しく確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/19)
A201700450 2017-1481 2017/10/07 (事故発生地) 神奈川県	換気扇(床下用) エス・デイ・ケイ(株) PF-180BC	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は床下循環用の換気扇であり、別の排気用換気扇と一緒に床下に設置することで床下空気の循環及び外への排気を行うことができる製品である。○当該製品は併用すべき排気用の床下換気扇が設置されていない状態で16年間、1日に6時間稼働していた。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、外郭樹脂及びコンデンサーは原形をとどめていなかった。○ファンモーターは焼損しており、軸は固着していた。○内部配線が断線し、断線部に熔融痕が認められた。○内部配線接続部の端子、外部配線接続部の端子、温度ヒューズは確認できなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/25)
A201700451 2017-1501 2017/08/29 (事故発生地) 千葉県	リチウム電池内蔵充電器 CAVジャパン(株) G500	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(A201700364と同一案件)	調査の結果、○当該製品の的外郭及び制御基板は焼失しており、確認できなかった。○当該製品の近傍には、布製ケースに入ったノートパソコンが置かれており、ノートパソコンは電源オフ状態で、ACアダプターは接続されていなかった。○事故発生現場から著しく焼損したリチウムイオン電池セル4個が回収されたが、当該製品又はノートパソコンのどちらにも内蔵されていた電池セルかは特定できなかった。●当該製品の焼損は著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/10/26)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700470 2017-1544 2017/10/22 (事故発生地) 大阪府	電気冷蔵庫 シャープ(株) 不明(SJ-11TTLと推定)	学校で火災報知器が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	調査の結果、○事故発生時、当該製品が設置されていた研究室は施錠されており、無人であった。○当該製品は、樹脂製天板が焼失し、上側の冷凍室庫内と下側の冷蔵室庫内の上半分が焼損した状態であった。○ドアスイッチの可動端子及び接点が熔融、変形しており、固定接点の表面に熔融が認められた。○電源コードは電源プラグから約34cmの位置で断線し、断線部に熔融痕が認められたが、通常の使用において外力が加わらない位置であった。○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○冷蔵室庫内に研究用の海水、試薬、保冷材等が保管され、天板上には段ボールが置かれていた。○当該製品は中古品であり、設置以前の使用履歴は不明であった。●当該製品は、ドアスイッチの接点部で異常発熱して出火したものと考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/11/06)
A201700516 2017-1641 2017/11/07 (事故発生地) 大阪府	電気ストーブ (株)ユーイング MS-912ESC	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は正面から見て右側面の外郭樹脂が焼失していた。○ヒーター部の安全ガードに繊維の付着が認められた。○電源コードは引出部付近で断線し、断線部に熔融痕が認められ、断線部から本体内部の一部が焼失し確認できなかった。○電源コードと転倒時オフスイッチ接続部はファストン端子で結線されているものであったが、接続部のファストン端子と接続端子金具は焼失しており確認できなかった。○ロータリー式の電源スイッチ等その他の電気部品に異常は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、本体内部の電源コード及び転倒時オフスイッチの一部が焼失して確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/11/20)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201700545 2017-1726 2017/11/02 (事故発生地) 東京都	電気冷蔵庫 吉井電気 (株) ER-517	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火 災)	調査の結果、○当該製品は、本体正面から見て右側部分が焼損し、電源コード口出部周辺に著しい焼損が認められた。○電源コードは電源プラグから約20cmの位置で断線していたが、断線箇所より本体側の芯線に異極間で放電した痕跡が認められた。○機械室付近の電源コードの詳細な状態は確認できず、電源コード本体側終端部の圧着接続部の状態が確認できなかった。○コンプレッサー、過負荷リレー、庫内温度調節用サーモスタット等、その他の電気部品に異常発熱の痕跡は認められなかった。●当該製品の本体内部の電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、機械室付近の電源コードの詳細な状態が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/04)
A201700563 2017-1767 2017/11/04 (事故発生地) 奈良県	延長コード パナソニック電工 (株) (現 パナソニック (株)) WHA2533WKP	当該製品に電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火 災)	調査の結果、○当該製品にオイルヒーター (1200W) を接続して使用していたところ、当該製品の可動式の電源プラグとコンセントが焼損した。○電源プラグの栓刃可動部は著しく焼損しており、栓刃可動部の角度を変えるたび、抵抗値が数Ω～数kΩに変動する状態であった。○栓刃には、曲がりや変色等の電源プラグに外力が加わった痕跡や、コンセントの刃受金具から受熱した痕跡は認められなかった。○電源プラグ内部で電源コードを接続する端子金具のカシメ部に出火の痕跡は認められなかった。○使用者は、当該製品の電源プラグをコンセントから抜き差しすることでオイルヒーターのオン/オフを行っていた。●当該製品は、電源プラグの栓刃可動部で接触不良が生じて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/11)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700569 2017-1785 2017/11/18 (事故発生地) 東京都	電気ストーブ 吉井電気(株) ADS-808	使用者(70歳代)が当該製品を使用中、着衣に着火する火災が発生し、1名が火傷を負った。	調査の結果、○使用者が当該製品の赤熱面を背にして暖を取っていたところ、着衣の背中側に着火し、火傷を負った。○当該製品の詳細は確認できなかった。○同等品の使用時の最高温度はガード最上部で150~160℃であった。○同等品の本体及び取扱説明書には、「使用中、ヒーターやガード部等の高温部に触れない。」、「可燃物の近くで使用しない。」旨、記載されている。●当該製品に接触又は長時間近付いた状態で使用していたため、衣類が加熱され、発火した可能性が考えられるが、当該製品の確認ができず、詳細な使用状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/14)
A201700573 2017-1788 2017/11/07 (事故発生地) 神奈川県	リチウム電池内蔵充電器 ウイルコム(株) LMU-101MC-BK	病院で当該製品に携帯電話機を接続して充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、外郭樹脂と内蔵されたリチウムイオン電池セルが著しく焼損していた。○電池セルのアルミラミネート外装フィルムは著しく焼損していた。○電池セルのセパレーターと正極板は焼失し、負極板には焼損及び穴空きが認められた。○回路基板、USBケーブル、USB端子は焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品内蔵のリチウムイオン電池セルに内部短絡が生じたため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/14)
A201700575 2017-1789 2017/11/29 (事故発生地) 埼玉県	電気温風機 松下精工(株)(現 パナソニック(株)) FE-8A	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。	調査の結果、○事故発生時、当該製品を使用していたか否かは不明であった。○当該製品の焼損は著しく、左右外郭側板、電源スイッチ軸等の樹脂製部品は焼失していた。○ヒーター及びスチームヒーターに断線及び端子の溶融は認められなかった。○ファンモーターは焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。○電源スイッチの一方の接点及び転倒時オフスイッチの電源コード側接点は焼失していた。○残存した電源スイッチ接点、転倒時オフスイッチ接点及び内部配線に溶融痕は認められなかった。○電源コードの詳細は確認できなかった。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/15)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700582 2017-1802 2017/08/20 (事故発生地) 広島県	携帯電話機（スマートフォン） Apple Japan（同） iPhone6 MG4F 2J/A	異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。	調査の結果、○当該製品をベッドの上に置いていたところ、「シュー」という音がして発煙し火花が出た。○当該製品は液晶側の上部左側が浮き上がり、内部は上部を中心に焼損した状態であった。○リチウムイオン電池セルは正規の位置から上側にずれており、上端部を中心に焼損していた。○外郭及び電池セルに外力が加わった痕跡は認められなかった。○その他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○当該製品のバッテリーパックはリフレッシュ交換されたものであった。●当該製品のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、異常発熱し焼損したものと考えられるが、事故発生以前の使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/18)
A201700611 2017-1888 2017/12/21 (事故発生地) 広島県	I H調理器 サナーエレクトロニクス（株）（サンソニック（株）ブランド） SIC-1400B (W) (サンソニック（株）ブランド)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は、当該製品を使用しておらず、上にトレイを置き食器等を置いていたが、電源プラグはコンセントに接続されていた。○当該製品は著しく焼損しており、樹脂部分が焼失していた。○当該製品のメイン基板の銅箔パターンは、ブリッジダイオードの直流側が焼失した状態であった。○電流ヒューズは溶断していた。○電源コード、加熱コイル、サーミスター及び表示基板に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、メイン基板に設置されているブリッジダイオードの直流側の銅箔パターン間でトラッキング現象が生じて焼損したものと推定されるが、基板の焼損が著しく、トラッキング現象が生じた原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/28)
A201700613 2017-1889 2017/12/12 (事故発生地) 千葉県	電気温風機（セラミックファンヒーター） (株)山善 DF-J121	当該製品のプラグ部及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は本体外郭に焼損等の異常は認められず、電源コードを交換して運転したところ、正常に動作した。○電源コードは本体側根元で切断され、電源プラグを含めて確認できなかった。○電源プラグを3口壁コンセントの中段に接続していたとの申出内容であったが、当該差込口に残存していた栓刃は、当該製品のものとは形状が異なっており、出火の痕跡は認められなかった。○当該製品が接続されていたとされる壁コンセントの表面に焦げが認められたが、刃受金具には熔融等、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品本体の電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、電源プラグが確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/12/28)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700656 2017-1903 2018/01/09 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ 三洋電機(株) R-86F	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品の電源コード部が焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品のスイッチを入れてから10分後に異音が生じ、本体口出部付近の電源コードが焼損した。○電源コードが本体口出部付近で断線しており、片極の芯線断線部には熔融痕と芯線のねじれが認められ、もう片極の芯線断線部では、芯線の部分断線が認められた。○本体内部の電気部品に出火の痕跡は認められず、動作確認の結果、本体動作及び消費電力に異常は認められなかった。○当該製品は、購入から33年以上経過しており、新品での購入から約10年間使用された後、本体に電源コードを巻き付けた状態で保管されていたが、事故発生の約1か月前から再使用されていた。●当該製品は、本体口出部の電源コードに屈曲ストレス等が繰り返され加わり、電源コードが半断線となっており、スパークが生じて焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/16)
A201700662 2017-1770 2017/12/08 (事故発生地) 大阪府	電気こたつ用コード 杉本電器(株)、(朝日電器(株)ブランド) WK-30P(GY)、(朝日電器(株)ブランド)	当該製品及び建物を全焼する火災が発生し、5名が死亡し、1名が軽傷を負った。	調査の結果、○使用者は、就寝用の布団を電気こたつの隣に敷いており、敷き布団と掛け布団の足元部分が電気こたつに入るように使用していた。○当該製品は著しく焼損しており、器具用プラグに近い位置で電源コードが断線し、断線部に熔融痕が認められた。○電源コードの断線箇所は、器具用プラグとつり下げ用コードフックの中間位置であり、通常の使用において外力が加わる位置ではなかった。○当該製品の中間スイッチ、電源プラグ、器具用プラグ及び電気こたつのヒーターユニットに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の電源コードの断線部に熔融痕が認められたことから、当該部位から出火したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/17)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700672 2017-1987 2018/01/01 (事故発生地) 神奈川県	電気式浴室換気乾燥暖房機 シンワハイテク(株)(現マックス(株)) BS-120N	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○浴室に設置した当該製品を暖房運転中、発煙、異臭がしたため確認すると、当該製品が浴槽に脱落し、浴室の天井等が焼損していた。○当該製品の焼損は著しく、本体樹脂は原形をとどめていなかった。○ヒーターユニット全体が焼損し、PTCヒーター内部の端子板に腐食及び溶断が認められ、パターンヒューズが切れていた。○PTCヒーターの接続端子に溶断等は認められなかった。○内部配線、ファンモーター、電源基板等のその他の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品のPTCヒーターから出火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明であることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/19)
A201700678 2017-1991 2018/01/05 (事故発生地) 広島県	電子レンジ 東芝コンシューママーケティング(株)(現東芝ホームテクノ(株)に事業移管) ER-E7	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(A201700675と同一事故) (火災)	調査の結果、○事故発生時、使用者は不在であり、帰宅すると当該製品及び隣に設置していたコーヒーマーカー周辺が焼損していた。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、特に電装部付近が著しく焼損していた。○電源入力部であるノイズフィルター基板は著しく焼損し、コイル、電流ヒューズ及び配線の一部以外の部品は焼失して確認できなかった。○操作パネル基板は焼失して確認できなかった。○電源コード、インバーター基板、ドアスイッチ等の部品に出火の痕跡は認められなかった。○コーヒーマーカーに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、ノイズフィルター基板等の確認できない部品があり、事故発生時の状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/19)
A201700692 2017-2029 2017/04/04 (事故発生地) 京都府	ノートパソコン 日本ヒューレット・パカード(株)(現(株)日本HP) F7Q56PA	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○施錠されていない無人の事務所に置かれていた当該製品付近から出火し、建物を全焼した。○当該製品は、ACアダプターを接続した状態で事務机の上に置かれており、周辺にはデスクトップパソコン及びプリンターが置かれていた。○当該製品は全焼して原形をとどめておらず、詳細は確認できなかった。●当該製品の焼損は著しく、詳細が確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/24)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700719 2017-2073 2018/01/17 (事故発生地) 兵庫県	電気ストーブ (株) ミュージコーポレーション (株) 山善ブランド) GS-800 (株) 山善ブランド)	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、正面から見て右側が著しく焼損しており、樹脂部分は全て焼失していた。○右側面では、上部にロータリー式の電源スイッチ、下部に電源コードの口出部があり、その下には転倒時オフスイッチがあった。○電源スイッチは、可動接点金具が1本のみ残存しており、その他の2本の可動接点金具と固定接点金具は確認できなかった。○電源コードは、本体口出部付近で、転倒時オフスイッチ接続側の片極芯線に溶融痕が認められ、異極芯線は断線していたが、溶融痕は認められなかった。○転倒時オフスイッチは、スイッチ内部の可動接点が金具ごと焼失していたが、残存する固定接点に溶着痕は認められなかった。○ヒーターの端子接続部及びヒーター管に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、本体口出部付近で電源コードが異常発熱して出火に至った可能性が考えられるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/06)
A201700733 2017-2171 2017/12/30 (事故発生地) 兵庫県	空気清浄機 (加湿機能付) シャープ (株) KC-A40	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、底面以外が著しく焼損しており、樹脂製の外殻は原形をとどめていなかった。○電源基板、ファンモーター等の電気部品は本体の焼損物に埋もれていた。○電源コードは、本体内部で断線及び溶融痕が認められ、断線部から電源基板までの電源コード及び電源基板とのコネクタ接続部が焼失していた。●当該製品の電源コードが著しく焼損し、本体内部で溶融痕が認められたが、外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/13)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700741 2017-2110 2018/01/28 (事故発生地) 島根県	延長コード 大和電器(株)(朝日電器 (株)ブランド) T2028(朝日電器(株))ブランド)	当該製品に複数の電気製品を接続していたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品にはオイルヒーター(1300W)が接続されており、事故発生時オイルヒーターは使用中であった。○当該製品の可動式プラグ周辺が著しく焼損し、一方の栓刃可動部が局所的に焼損していた。○焼損した栓刃と端子金具の接触面に隙間が認められ、接触面に金属の溶融や変形等、異常発熱の痕跡が認められた。○焼損した栓刃の先端は曲がっていたが、曲がった時期は不明であった。○タップ部や電源コードに出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、可動式プラグの栓刃と端子金具の接触面に隙間ができて接触不良が生じ、焼損したものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/15)
A201700743 2017-2163 2018/01/24 (事故発生地) 大阪府	電気洗濯機 シャープ(株) 不明(ES-FG45系と 推定)	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	調査の結果、○事故発生時、使用者は外出中で、当該製品はベランダの防水型のコンセントに接続されていたが、運転中ではなかった。○当該製品は全体的に著しく焼損し、外郭の金属部品と洗濯槽モーターを残して、樹脂部は全て溶融して底部に固着していた。○制御基板は原形をとどめておらず、電源スイッチ及び電源線と制御基板の接続部は確認できなかった。○電源コードはコンセントから約20cmの位置で断線し、断線部には溶融痕が認められたが、通常使用において外力が加わる位置ではなかった。●当該製品の焼損は著しく、制御基板の一部が確認できず、事故発生時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/16)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700761 2017-2294 2018/01/26 (事故発生地) 大阪府	布団乾燥機 パナソニック エコシステムズ(株) 不明(FD-F06A又はFD-F06J)	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は、2時間タイマーで当該製品を使用したところ、タイマー終了時刻から1～2時間後に煙が部屋に充満し、当該製品付近から炎が上がっていることを確認した。○当該製品は全体的に著しく焼損しており、金属製の部品のみ残存していた。○ヒーター、ファンモーター等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○タイマー付きダイヤルスイッチに熔融痕等の出火の痕跡は認められず、スイッチの軸の位置は「切」付近にあった。○電源コードは電源プラグ側の約80cm分を残して、本体側の120cm分が焼失していた。○当該製品のものと考えられた回収部品の中に、別の電気製品の断線した電源コードが含まれており、熔融痕等が認められた。●当該製品の残存する電気部品に出火の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/22)
A201700776 2017-2338 2018/02/03 (事故発生地) 群馬県	電気ストーブ(セラミックファンヒーター) アイリスオーヤマ(株) JCH-12D2	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は、湯張り中の浴室を暖めるために、浴槽の蓋の上で使用されていた。○当該製品の外部は、正面右側下部から上部に向かって溶融していた。○PTCヒーター部のサーモスタットは片側端子部が焼失しており、内部の可動接点は固定接点に溶着していた。○当該製品の電源コード、電源プラグ、基板、ファンモーター、及びPTCヒーターに熔融痕等の出火の痕跡は認められなかった。○基板に搭載されていた電流ヒューズとPTCヒーター一部の温度ヒューズは切れていなかった。●当該製品のサーモスタット部から出火したものと推定されるが、サーモスタットの片側端子部が焼損し確認できず、設置状況の影響も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/03/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁受付年月日
A201800050 2018-0188 2018/03/23 (事故発生地) 愛知県	ノートパソコン 富士通(株)(現 富士通クライアントコンピューティング(株)) 不明	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が軽傷を負った。 (火災)	調査の結果、○当該製品は電源コードが接続された状態で、出火元と推定される場所の近くに置かれていた。○本体内部の基板、HDD等の電気部品に出火の痕跡は認められなかった。○バッテリーパックは、樹脂製ケースが焼失し、内部のリチウムイオン電池セル3本及び保護回路基板が焼損していた。○電池セルは、3本とも内部電極が焼損していた。○保護回路基板に出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、本体に出火の痕跡は認められなかったが、バッテリーパックの焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/05/08)
A201800062 2018-0123 2018/04/19 (事故発生地) 愛知県	スイッチングハブ(パソコン周辺機器) (株)コレガ(現 アライドテレシス(株)) CG-SW08TXRX	飲食店で当該製品を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品は、本体のACインレット部と電源コードのコネクタ一部が焼損していた。○ACインレットの接続ピンは溶融、焼失していたが、電源基板にはんだ付けされた端子部は残存していた。○電源基板のその他の電気部品及び制御基板に出火の痕跡は認められなかった。○電源コードは、コネクタの接続端子が焼失し、芯線の先端に溶融痕が認められた。●当該製品は、本体ACインレットの接続ピンの付け根付近でトラッキング現象が生じ、出火したものと推定されるが、ACインレットの焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/05/14)
A201800107 2018-0323 2018/05/16 (事故発生地) 東京都	電気掃除機(充電式) アイリスオーヤマ(株) ESC-7DCKS	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	当該製品は、不織布フィルターが正しく装着されていないため、内部にごみが侵入しモーターが過負荷状態になり、モーター駆動用トランジスターに過電流が流れて異常発熱し、焼損したものと推定されるが、モーター過負荷時におけるモーター駆動用トランジスターの保護が不十分であったことも、事故発生に影響したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「不織布フィルターをめぐれないようにかぶせる。正しくかぶせていないとモーター内部にごみが入り、故障の原因になる。」旨、記載されている。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるアイリスオーヤマ(株)は、後継機種について、過電流検知の応答時間を変更するとともに、本体にメッシュフィルターを追加している。	(受付:2018/06/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800184 2018-0391 2018/05/12 (事故発生地) 愛知県	リチウム電池内蔵充電器 (株)直村企画 NP-DPB01	車両内で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、○当該製品は、自動車内のダッシュボードの上で焼損し、樹脂製外郭ケースはダッシュボードに溶着していた。○当該製品内部のリチウムポリマー電池セルは、内部電極中央部の焼損が著しかった。○制御基板は焼損していたが、出火の痕跡は認められなかった。○自動車は、事故発生の2時間前に屋外駐車場に駐車されていた。○事故発生日は晴れで、事故発生時の10時半頃の気温は約23℃であった。●当該製品は、内部のリチウムポリマー電池セルで内部短絡したため、異常発熱して出火したものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生時の車両内の状況や事故以前の詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/07/05)
A201800193 2018-0525 2018/06/15 (事故発生地) 東京都	ディスプレイ パナソニック(株) KD-133	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。 (火災)	当該製品はモーター制御ICに不具合が生じて焼損し、発煙に至ったものと推定されるが、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/07/09)
A201800227 2018-0653 2018/07/13 (事故発生地) 兵庫県	電気掃除機 アイリスオーヤマ(株) DKC-SM1-SR	当該製品の電源を入れたところ、当該製品の電源プラグ部を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 (火災)	当該製品は、電源プラグ部に外力が加わったことで、栓刃と芯線のカシメ接続部付近に応力が集中して断線し、スパークしたものと推定されるが、外力が加わった原因が不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/07/23)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800312 2018-0820 2018/08/08 (事故発生地) 新潟県	リチウム電池内蔵充電器 (株) イーサプライズ ESAMB10000GY	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は、リチウムポリマー電池セルが内部短絡して出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者である(株)イーサプライズは、製品の取扱いによる影響も考慮して、2018年(平成30年)8月よりホームページにて、モバイルバッテリーの取扱いに関する注意喚起を実施している。	(受付:2018/08/27)
A201800314 2018-0821 2018/07/30 (事故発生地) 千葉県	エアコン(室外機) (株) コロナ CO-S226	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、圧縮機用フィルムコンデンサーが内部短絡を生じて焼損したものと推定されるが、フィルムコンデンサーの焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/08/28)
A201800325 2018-0861 2018/08/19 (事故発生地) 東京都	リチウム蓄電池 ニチコン(株) ESS-U2M1	火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。	当該製品は、各リチウムイオン電池セル間を連結するセル連結板溶接工程で発生する溶接くずが、絶縁材のスペーサーと電池セル間の隙間に混入し、電池セル間の短絡が発生して出火に至ったものと推定される。	製造事業者であるニチコン(株)は、事故の再発防止を図るため、2018年(平成30年)11月出荷分より、電池セル上に配置するインナーカバーの形状を変更し、電池セル間の隙間に溶接くず等の異物混入防止対策を実施している。また、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/08/31)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201800337 2018-0884 2018/07/27 (事故発生地) 東京都	電気掃除機（充電式、スティック型） 日立アプライアンス（株） PV-BD700	当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品はバッテリーパック内部の電池基板において、異物等による短絡が生じて発熱し、出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しいことから、短絡した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/09/05)
A201800377 2018-1003 2018/08/14 (事故発生地) 神奈川県	換気扇 高須産業（株） PFF-100K	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品の電源接続端子部への水分の浸入に対する保護が不十分であったため、屋外から水分が浸入した際、異極間でトラッキング現象が生じ、出火に至ったものと推定される。なお、当該製品はリコール対象製品であり、使用者宅へ訪問等による点検の案内が行われていたにもかかわらず対策が行われなかったことも、事故発生に影響したものと考えられる。	製造事業者である高須産業（株）は、2006年（平成18年）11月16日付けで社告を行い、電源接続端子部の取付構造及び施工作業のばらつきにより、水滴の浸入保護が不十分であったため、発煙、出火に至るおそれがあるとして、無償点検及び部品交換を実施している。	(受付:2018/09/25)
A201800378 2018-1019 2018/09/11 (事故発生地) 東京都	電気洗濯乾燥機 東芝ホームアプライアンス（株）（現 東芝ライフスタイル（株）） AW-80VG	当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。	当該製品内部のモーター配線用保護クッション材が脱落したため、運転中の振動によりモーターの回転センサー配線の被覆が金属製外郭ねじ穴部の突起と接触して損傷し、金属製外郭との間でスパークが発生して、周辺のほこりに着火し、延焼したものと考えられるが、クッション材が脱落した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/09/27)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800456 2018-1287 2018/10/17 (事故発生地) 東京都	リチウム電池内蔵充電器 (株) アベル (マイヤード (株) ブランド) MY-L120 (マイヤード (株) ブランド)	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のリチウムイオン電池セルに内部短絡が生じたため、異常発熱したものと推定されるが、焼損が著しいことから、電池セルが内部短絡した原因の特定には至らなかった。	輸入事業者である(株)アベルは、2018年(平成30年)10月19日に当該型式品の販売を中止し、店頭からも撤去するとともに、同等品確認の結果、構造の異なる電池セルが製品に用いられていたことから、製造工程に電池セルの全数検査を追加するよう製造事業者に改善を求めている。また、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/11/08)
A201800459 2018-1083 2018/10/03 (事故発生地) 富山県	パワーコンディショナ(太陽光発電システム用) 三洋電機(株) SS1-TL40A2	異臭がしたため確認すると、当該製品の内部部品を焼損する火災が発生していた。	当該製品は、直流昇圧回路の出力側に装着された電解コンデンサの電圧制御用ICが故障したことで、電解コンデンサーに過電圧が加わって過熱し、内圧が上昇したため防爆弁が作動して高温の電解液が外部に噴出したものと推定されるが、電圧制御用ICが故障した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/11/08)
A201800462 2018-1293 2018/11/01 (事故発生地) 東京都	液晶ディスプレイモニター NECディスプレイソリューションズ(株)(三菱電機(株)ブランド) RDT214S(三菱電機(株)ブランド)	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。	当該製品は長期使用(9年間連続通電)により、電解コンデンサーが劣化したため、電解コンデンサーの内圧が上昇して防爆弁が開き、電解液が蒸気となって噴出したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/11/09)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201800498 2018-1374 2018/11/17 (事故発生地) 東京都	照明器具 岩崎電気(株) FET4204SRS- 0014	当該製品の内部部品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、長期使用(17年)により、安定器の一次巻線の絶縁性能が低下したため、レイヤショートが生じて異常発熱し、焼損に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、製造事業者である岩崎電気(株)及び(一社)日本照明工業会は、ホームページに点検・交換の推奨時期、耐用年数を表示するとともに長期使用の製品に関する注意喚起を実施している。	(受付:2018/11/28)
A201800505 2018-1396 2018/11/19 (事故発生地) 東京都	LEDランプ(直管形) アイリスオーヤマ(株) LDG40S・N/19/ 25/D	事務所で当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品の実装基板上の発光用LED及び銅箔パターン付近で異常発熱し焼損したものと推定されるが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、異常発熱した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるアイリスオーヤマ(株)は、後継機種について、LED素子や電源回路部品の見直しを行い、従来品と比較して熱的なリスクをより低減させている。	(受付:2018/11/29)
A201800511 2018-1400 2018/11/19 (事故発生地) 埼玉県	電子レンジ ハイアールジャパンセールス(株) JM-17F-50	当該製品を使用中、当該製品の庫内を焼損する火災が発生した。	当該製品は、タイマーモーターとギヤの連動に不具合が生じて、タイマーの動作が止まり、連続運転となって庫内の調理物が過熱し焼損したものと考えられるが、タイマーが動作停止した原因の特定には至らなかった。なお、当該製品のタイマーの不具合を認識しながら使用を継続し、使用中にその場を離れてしまったことも事故発生に影響したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、輸入事業者であるハイアールジャパンセールス(株)は、2018年(平成30年)1月以降の製品について、温度過昇防止装置のOFF後の再加熱運転を発生させないように復帰温度を変更するとともに、取扱説明書に「調理中はそばを離れない。」旨、追記している。	(受付:2018/11/30)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800656 2018-1760 2019/01/02 (事故発生地) 大阪府	液晶テレビ (株) アズマ TLD-26HD33B	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は本体内部の電源スイッチ付近で異常発熱し、出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しく、電源スイッチが確認できなかったことから、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/01/24)
A201800671 2018-1800 2019/01/20 (事故発生地) 東京都	配線器具 (スイッチ) 神保電器 (株) JEC-B-1	当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品は、電線接続部で異常発熱しており、接触不良で焼損したものと推定されるが、接続部の焼損が著しく、事故発生以前の状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、(一社)日本配線システム工業会は、ホームページに交換の目安となる年数を表示するとともに長期使用の製品に関する注意喚起を実施している。	(受付:2019/01/29)
A201800674 2018-1723 2019/01/11 (事故発生地) 滋賀県	リチウム電池内蔵充電器 (株) アベル (マイヤード (株) ブランド) MY-L1100 (マイヤード (株) ブランド)	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、出火に至ったものと推定されるが、焼損が著しく、内部短絡の原因の特定には至らなかった。	輸入事業者である(株)アベルは、2018年(平成30年)10月19日より当該型式品の販売を中止し、店頭からも撤去している。また、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/01/29)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800691 2018-1792 2019/01/14 (事故発生地) 大阪府	コンセント (株)新光製作所(東芝ライテック(株)ブランド) DW2732(東芝ライテック(株)ブランド)	当該製品を焼損する火災が発生した。 (火災)	当該製品は、長期使用(40年以上)により、屋内配線接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火したものと推定されるが、送り配線側のコンセントの使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、(一社)日本配線システム工業会は、ホームページに交換の目安となる年数を表示するとともに長期使用の製品に関する注意喚起を実施している。	(受付:2019/02/07)
A201800703 2018-1857 2019/01/02 (事故発生地) 東京都	電気カーペット 松下電工(株)(現パナソニック(株)) DR5201	異臭がしたため確認すると、当該製品のコントローラー部の内部部品を焼損する火災が発生していた。 (火災)	当該製品は、長期使用(18年)により、リレー接点の開閉を繰り返したことで金属摩耗粉が堆積し、トラッキング現象を生じてリレーを焼損したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/08)
A201800730 2018-1932 2019/02/13 (事故発生地) 愛知県	温水式浴室換気乾燥暖房機 リンナイ(株)(東邦ガス(株)ブランド) RBH-C333K3SNP(東邦ガス(株)ブランド) 型式HBD-3304 KCSK-J3P)	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を溶融する火災が発生した。 (火災)	調査の結果、当該製品は、送風モーターの外郭モールド樹脂に密着不良があったため、隙間から内部に水分が浸入して内部基板でトラッキング現象が発生し、出火に至ったものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/21)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201800830 2019-0015 2016/11/16 (事故発生地) 大阪府	リチウム電池内蔵充電器 (株) イdeal 不明	電車内で当該製品を充電中、当該製品を焼損する火災が発生した。 (火災)	当該製品のリチウムイオン電池セルが内部短絡したため、出火したものと推定されるが、電池セルの焼損が著しく、内部短絡が発生した原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/03/28)
A201800834 2019-0024 2019/03/20 (事故発生地) 愛知県	温水洗浄便座 (株) INAX (現 (株) LIXIL) DT-5823U	当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。 (火災)	当該製品は、制御基板上でトラッキング現象が発生したため、出火したものと推定されるが、制御基板の焼損が著しく、トラッキング現象が生じた原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/03/29)
A201900001 2019-0043 2019/03/16 (事故発生地) 千葉県	電気ストーブ (カーボンヒーター) 燦坤日本電器 (株) UHC-3T	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。 (火災)	当該製品の強弱切替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至ったものと考えられる。	同社は、2007年(平成19年)8月7日、2008年(平成20年)4月21日、2011年(平成23年)2月15日、2012年(平成24年)2月24日及び2013年(平成25年)3月11日に新聞社告を掲載し、かつ、2012年(平成24年)2月24日及び2013年(平成25年)3月11日に同社ホームページへ情報を掲載しているほか、雑誌及びインターネット広告への掲載等を行い、当該型式を含む対象機種について製品回収及び返金を実施している。	(受付:2019/04/01)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201900063 2019-0191 2019/04/06 (事故発生地) 長崎県	食器乾燥機 東京電気(株)(現 東芝 テック(株)) VD-410F	火災警報器が鳴動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	当該製品は、長期使用(40年)により、基板上に付着したほこりが吸湿して基板上の銅箔パターン間が絶縁劣化するとともにトラッキング現象を生じて焼損したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/04/22)
A201900067 2019-0173 2019/04/11 (事故発生地) 兵庫県	ノートパソコン パナソニック(株) CF-S10CWHDS	事務所で当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のバッテリーセルの封口部に製造上の不具合によって生じた導電性異物が付着し、充放電を繰り返すうちに封口部の絶縁部が劣化し、バッテリーセルが内部短絡を起こして過熱し、火災に至ったものと推定される。	パナソニック(株)は、平成26年5月28日にホームページに情報を掲載するとともに、同月29日に新聞社告を行い、対象バッテリーパック(特定の期間に製造した電池セルを使用したもの)について無償で製品交換を実施している。また、当該リコールの対象外であったバッテリーパックにおいても発煙・発火に至るおそれがあるため、対象範囲を拡大することとし、平成26年11月13日にホームページに情報を掲載するとともに、同月14日及び平成27年2月23日に新聞社告を行っている。	(受付:2019/04/23)
A201900069 2019-0187 2019/04/15 (事故発生地) 福岡県	電気温水器 九州変圧器(株)(現 (株)キューヘン) SM837DB-C178	異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	事故原因は、当該製品の電気回路に使用したヒーターリレーの配線接続部分である「差し込み方式」のソケット取付けの作業不良により、長期使用(約20年)に伴い、リレー端子の接点が接触不良となり、アーク放電が生じて火災に至ったものと考えられる。	(株)キューヘンは、事故の再発防止を図るため、2008年(平成20年)4月25日にプレスリリース及びホームページへの情報掲載を実施している。また、翌4月26日に新聞社告の掲載を行うとともに、判明購入者に対するダイレクトメールの送付等により注意喚起を行い、対象製品について無償点検・改修(ヒーターリレーの交換)を実施している。	(受付:2019/04/24)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800634 2018-1707 2018/12/28 (事故発生地) 新潟県	石油温風暖房機（開放式） ダイニチ工業（株） FW-322E	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生した。	当該製品を消火せずに給油を行い、給油したカートリッジタンクを製品本体に戻そうとした際、灯油がこぼれて出火に至ったものと考えられるが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/01/18)
A201800695 2018-1850 2019/01/23 (事故発生地) 愛知県	屋外式（RF式）ガスふろがま（都市ガス用） (株)ノーリツ GSY-132M	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品の空だき防止装置に不具合があったため、浴槽の水が抜けたときに燃焼が停止せず、浴槽との連結ゴムが過熱して火災に至ったものと考えられるが、空だき防止装置の焼損が著しく、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/07)
A201800700 2018-1795 2019/01/28 (事故発生地) 福井県	石油給湯機 (株)コロナ UIB-4000HTX (M)	異音がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。	当該製品は、長期使用（16年）により、ノズルや点火棒の劣化により燃焼筒内にたまった未燃灯油に引火して燃焼筒及び熱交換器と消音器の継ぎ目のパッキンが劣化し、当該箇所から高温の排気が漏れ、配線の被覆が溶融し、水比例弁や対震自動消火装置が焼損したものと推定される。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/07)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201800740 2018-1930 2019/02/11 (事故発生地) 長崎県	石油ふろがま（薪兼用） (株)長府製作所 CHS-6	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。(20181923と同一事故)	当該製品に油漏れや空だき等の出火の痕跡は認められなかったが、一部の部品が確認できなかったため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/22)
A201800745 2018-1954 2018/12/22 (事故発生地) 群馬県	ガスこんろ（都市ガス用） パロマ工業(株)（現（株）パロマ） IC-800F-1L	建物を全焼する火災が発生し、現場に当該製品があった。	当該製品の焼損は著しく、詳細な使用状況が不明であり、外部からの延焼の可能性も考えられることから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/02/25)
A201800771 2018-1918 2019/02/19 (事故発生地) 山口県	石油ストーブ（開放式） (株)コロナ SX-E2916WY	当該製品を使用中、建物2棟を全焼する火災が発生し、1名が軽傷を負った。	当該製品に異常燃焼及び油漏れの痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2019/03/06)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201900167 2019-0427 2019/05/10 (事故発生地) 神奈川県	石油ふろがま (株)長府製作所 CK-11S	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品は機器の修理、点検及び空焚き防止装置の作動状況を判定するため、一時的に使用する点検用コネクタ（空焚き防止装置を働かせないようにするもの）を修理・点検後に戻し忘れたため、浴槽排水栓の閉め方が不十分で空焚きとなった際に空焚き防止装置が作動せず、火災に至ったものと考えられる。	(株)長府製作所は、当該製品を含む対象機種について、修理・点検時の点検用コネクタの戻し忘れによる空焚き事故が発生したことから、事故再発防止のため、平成19年7月27日にプレスリリース及びHPに情報掲載し、点検用コネクタが付属する全ての機種について、無償点検により点検用コネクタの回収を実施。他の対象機種と一部構造等異なる2機種（CK-11及びCK-11S）は、空焚き防止回路が不安定な際、空焚き防止装置の作動頻度が多くなり修理等の依頼が増え、点検用コネクタの戻し忘れの可能性が高くなるため、安定的な作動確保のため基板交換も実施。周知のため平成19年7月28日に新聞社告、平成21年10月～平成22年3月までTVCM放映、継続的に販売・サービス店による修理・点検時に対象機種がある場合、確認と回収等の徹底、ポスター掲示、店頭チラシ配布、新聞折込みチラシ等による呼び掛けを行っている。	(受付:2019/06/05)
A201900204 2019-0587 2018/02/14 (事故発生地) 新潟県	ペレットストーブ (有)シモタニ AL-15-03	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品の給排気筒が地面に対して平行に設置されており、さらに排気エラーを検知する負圧センサーが故障していたため、給排気筒から製品内部に強風が吹き込んだ際、燃焼が継続して排気が燃料タンク方向に押され、ペレット燃料に引火したものと推定される。なお、当該製品の設置施工に製造事業者が携わっていた。	再発防止措置として、(有)シモタニは、既製品について販売店を通じて調査を行い、給排気筒の強風対策補修の必要性の有無を判断の上、必要に応じて給排気筒の強風対策補修を行うこととし、プログラムも改修して運転開始時に負圧センサーの異常の有無をチェックすることを検討している。	(受付:2019/06/20)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700724 2017-2149 2017/11/25 (事故発生地) 神奈川県	椅子 イケア・ジャパン(株) 30184050	使用者(80歳代)が畳の上にあった当該製品に着座しようとしたところ、転倒し、胸部を負傷した。	調査の結果、○使用者は、畳の上にあった当該製品に着座しようとした際に転倒したとの申出内容であったが、目撃者はいなかった。○当該型式品は、購入者が組み立てて使用する製品であった。○家人によれば、使用者は当該製品をふだん2階の畳の部屋でミシン用の椅子として使用しており、当該製品から落ちることがあった。○当該製品は、裁縫教室で使用されていた同等品9脚と混在したため、特定することができなかった。○裁縫教室で使用されていた10脚に破損や傷が認められたものはなかったが、1脚はコの字型の脚交差部のナットに緩みが、8脚に座面と脚の固定部4か所中1～3か所のねじに緩みが、1脚は4か所全てのねじに緩みが認められた。○当該型式品の座面は厚さ4.1mmの樹脂製であり、その縁部には他社類似品と比べて沈み込みやすい箇所が認められた。○当該型式品はスツールに関する規格EN 1728及びEN 12520の静的強度試験、座面の耐久性試験、脚部の静的強度試験、座面の耐衝撃試験、安定性試験に合格していた。●当該製品は、コの字形の2つの脚をつなぐボルトのナット又は脚と座面を固定するねじに緩みが認められるとともに、座面縁端部が他社類似品と比べて沈み込むことが認められたものの、事故発生時の詳細な状況等が不明のため、製品起因が否かを含め、事故原因の特定に至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/02/08)
A201800348 2018-0935 2018/06/14 (事故発生地) 鳥取県	散布器 ヤマト農磁(株) なし	当該製品に他社製の乾電池を装填し使用していたところ、乾電池から液漏れが発生し、背中を負傷した。(A201800334と同一事故)	使用者が、取り外した乾電池を再度当該製品の電池ボックスに装填する際に、誤って逆装填したことで、同じ電池ボックス内のほかの乾電池が充電され、事故に至ったものと推定される。なお、当該製品の電池ボックスが逆装填防止構造でなかったことも事故発生に影響したものと考えられる。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。なお、当該製品は2009年(平成21年)4月に販売を終了している。	(受付:2018/09/11)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201800410 2018-1126 2018/09/25 (事故発生地) 東京都	踏み台（アルミニウム合金製） (株)ピカコーポレイション CTB-5	店舗で当該製品を使用中、転倒し、頭部を負傷した。 (重傷)	当該製品は、長期使用（18年以上）により、支柱の破断部に硫黄や塩素が蓄積して腐食が発生し、腐食部にノッチ（微小な欠け）ができ応力が集中して割れが進展する応力腐食割れにより亀裂が発生し、その後の使用で亀裂が進展して破断に至ったものと推定される。	当該型式品は2000年に生産終了しており、引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/10/18)
A201800702 2018-1856 2018/12/12 (事故発生地) 東京都	折りたたみ椅子 (株)ニトリ アイリーⅠV	当該製品に着座したところ、当該製品の座面と脚部の接続部が破損し、転倒、左足を負傷した。 (重傷)	当該製品の座面裏のL字アングルと後脚を接合する中空リベットの強度が不足していたこと及びL字アングルが正常な位置に取り付けられていなかったことから、中空リベットに亀裂が発生し、使用時に加わる負荷によって徐々に亀裂が進展して右側のリベットが破断し、続いて左側のリベットも破断して事故に至ったものと推定される。	再発防止措置として、(株)ニトリは、工程管理向上とともに後継機種についてはリベット部の強度を増すため、ワッシャーを追加し、中空リベットの厚みを増す仕様変更を実施している。また、2019年6月生産分から中空リベットから中実リベットへの仕様変更を実施している。	(受付:2019/02/08)
A201800772 2018-2002 2019/01/11 (事故発生地) 神奈川県	階段移動用リフト (株)アルバジャパン S35 車いすタイプ	当該製品を使用中、搭乗者（70歳代）が転落し、病院に搬送後、入院中に死亡した。 (死亡)	調査の結果、当該製品は、前後の重心が釣り合った状態を維持しながら階段を昇降する仕様であるが、前後の重心が釣り合った状態からハンドルバーを前方へ傾けた際に、搭乗者を含めた当該製品が前方へ転倒することを抑止する機能が装備されていない構造であるため、使用者が搭乗者を乗せて使用中に当該製品のバランスが崩れて事故に至ったものと推定されるが、使用者が使用開始前の操作講習において禁止されていたにもかかわらず、操作中に手すりをつかんだ搭乗者の手を振りほどこうとしてハンドルから手を離れたことも事故発生に影響したものと考えられる。なお、取扱説明書には、「階段昇降中は、決してハンドルバーから手を放さない。」旨、記載され、「階段の途中で昇降を止める場合には、当該製品を後方に倒し、階段上に寝かせた状態にする。」旨、図示されている。	再発防止措置として、アルバジャパン(株)は、取扱説明書の改修や動画サイトを構築するとともに、「角度感知センサー」の活用を徹底することとした。	(受付:2019/03/06)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201600640 2016-2106 2017/01/17 (事故発生地) 千葉県	電動アシスト自転車 パナソニック サイクルテック(株) BE-ENE635M2	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○使用者は、バッテリーパックを半年前に充電した後、1度だけ乗車して、バッテリーパックを当該製品に装着したまま保管していたところ、バッテリーパックから出火しているのを発見した。○当該製品のバッテリーパックは、フレームの取付部から落下しており、樹脂製の外郭は焼失していた。○モーターユニット上方に、溶融した樹脂の付着が認められた。○バッテリーパック内部の制御基板は焼損が著しく、大部分の部品は焼失していた。○リチウムイオン電池セル間を接続している板金に出火の痕跡は認められなかった。○電池セルは、1本に防爆弁の開放、2本に外装缶の穴空き、3本にカシメ部の欠損、3本に外装缶のへこみが認められた。○バッテリーパックと接続する当該製品側のコネクター(オス)及びコネクターに結線されている配線に、出火の痕跡は認められなかった。●当該製品は、バッテリーパック内部のリチウムイオン電池セルが異常発熱して出火したものと推定されるが、バッテリーパックの焼損が著しく、事故発生時の詳細な状況も不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/01/31)
A201700524 2017-1658 2017/10/21 (事故発生地) 兵庫県	電動アシスト車いす 日進医療器(株)(フランスベッド(株)ブランド) FB-NAH446-SH (フランスベッド(株)ブランド)	使用者(80歳代)が当該製品に乗車中、転落し、負傷した。	調査の結果、○使用者が当該製品に乗った状態で介助者がその場を離れたところ、当該製品が道路と段差のある後方の空き地に転落し、使用者が負傷した。○当該製品は、グリップ内部のセンサーで操作を検知する仕様であった。○グリップ内部にさびの発生が認められた。○グリップセンサーのはんだ部にイオンマイグレーションが認められた。○電源スイッチの基板上にさびの発生と水の痕跡が認められた。○背折れハンドル側面の配線を通す穴は、防水対策がなされていなかった。○取扱説明書には、「直接風雨にさらされる環境下での保管及び使用を禁止する。」旨、記載されている。●当該製品は、グリップ内部及び電源スイッチの基板上にさびの発生が認められたことから、背折れハンドル側面の穴から浸入した水によってグリップセンサーが誤作動したものと推定されるが、詳細な状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/11/24)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201700785 2017-2370 2017/12/18 (事故発生地) 東京都	泥よけ（電動アシスト自 転車用） パナソニック サイクルテ ック（株） NDD5578S	自転車で走行中、自転車の装着してい た当該製品が前輪に巻き込まれ、前輪が ロックし、転倒、負傷した。 (重傷)	調査の結果、○使用者は、販売店で自転車を 購入した際に、当該製品を店頭で購入し、後日 、販売店で自転車の装着した。○当該製品は標 準装備されているフロントキャリアと前ホーク を固定するねじ類を使用して、フロントキャリ ヤと一緒に前ホークに固定する構造であった。 ○使用者が当該製品を装着した自転車で走行中 、当該製品が前輪に巻き込まれ、前輪がロック して転倒した。○使用者は、通勤で当該製品を 装着した自転車を6か月間、毎日30km走行 していた。○当該製品と標準装備されているフ ロントキャリアを前ホークに固定していたボル ト及びナットが脱落してなくなっていた。○上 端部が内側に90度変形して、泥よけ体取付金 具が自転車の前ホークの固定部から外れていた が、泥よけ体取付金具は変形していなかった。 ○ステアは前ホークに取り付けられた状態で大 きく変形しており、下端部が当該製品のステア と前タイヤの間に巻き込まれた状態であった。 ●販売店で取り付けられた当該製品は、取付金具が 前ホークから外れていたため、走行中の振動や 自重で下方にずれた際、下端部が前輪に巻き込 まれ、事故に至ったものと推定されるが、取付 金具が外れた時期及び原因が不明のため、製品 起因が否かを含め、事故原因の特定には至らな かった。	引き続き同様の事故発生について注視し ていくとともに、必要に応じて対応を行う こととする。	(受付:2018/03/05)
A201800446 2018-1277 2018/10/09 (事故発生地) 愛知県	自転車 (株) ジャイアント I D I O M 1 (2 0 1 5 年モデル)	当該製品で走行中、ハンドルステム部 が脱落し、転倒、負傷した。 (重傷)	当該製品はヒンジピンを固定している止めね じの固定に不具合があり、ヒンジピン片端の抜 け防止ねじにも取付不良があったため、走行中 の振動でヒンジピンが外れ、ハンドルステム部 が折りたたみ部から脱落したものと推定される 。	引き続き同様の事故発生について注視し ていくとともに、必要に応じて対応を行う こととする。	(受付:2018/11/05)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201700098 2017-0351 2017/04/23 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（リチウムポリマー、模型用） (株) ヨコモ YB-L400A	当該製品を充電中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	調査の結果、○当該製品は著しく焼損し、外装樹脂ケースが焼失していた。○内蔵のリチウムポリマー電池セル2個は著しく焼損し、1個の電池セルの電極板は焼失して、焼損著しい部分で小さな溶融痕が多数認められた。○当該製品を接続していた充電器に出火の痕跡は認められなかった。○バランスコネクターは充電器に接続されていたが、当該製品側の配線は断線し、接続状況の確認はできなかった。●当該製品のリチウムポリマー電池セルが内部短絡して異常発熱し出火したものと推定されるが、焼損が著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/05/23)
A201700697 2017-1918 2017/08/00 (事故発生地) 愛知県	手袋（作業用） ショーワグローブ（株） ビニトップ厚手 Mサイズ ピンク	当該製品を使用していたところ、手に皮膚炎を発症した。	調査の結果、○使用者は、受診した際に当該製品の抽出成分によるパッチテストにおいて陽性を示していたが、再度実施したパッチテストでは陰性であった。○抽出成分を4つの成分グループに分けて各々パッチテストを実施したが全て陰性であった。○当該製品に含まれている可塑剤、酸化防止剤等の化学成分を分析し、成分として市販されている試薬（標準物質）を用いてパッチテストを実施したが全て陰性であった。○当該製品の原材料に使用される物質を用いてパッチテストを実施したが全て陰性であった。●当該製品との接触により皮膚炎を発症したものと推定されるが、再度実施したパッチテストにおける結果は全て陰性であり、原因物質が確認できないことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/01/25)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800009 2018-0050 2018/02/22 (事故発生地) 神奈川県	カイロ（手首、足首用） 桐灰化学（株） K071608	当該製品を使用して就寝中、足に低温火傷を負った。 (重傷)	調査の結果、○使用者は就寝時に当該製品を足首用ホルダーに入れて使用していたところ、就寝中に熱さで目が覚め、足首用ホルダーを取り外すと両足首が赤くなり、低温火傷になっていた。○使用者は就寝中に足を温める目的で、当該製品を1年以上使用していたが、事故発生時まで低温火傷を負ったことはなかったとの申出内容であった。○事故発生時に使用していた当該製品は使用者が廃棄しており、足首用ホルダーに同等品を入れて使用したときの発熱温度測定は、使用者の要望により行えなかった。○4個の同等品を用いて足首用ホルダーの同等品に入れたときの発熱温度測定を行ったところ、通常使用時では衣服等に熱が分散されて皮膚表面温度はほとんど上昇しないが、布団の中に入れた状態では、発熱開始から衣服と皮膚の接触面の温度が上昇し続け、40分後には皮膚と接触する衣類の裏面も46℃に達し、その後も56℃まで上昇し続けた。○低温火傷に関する文献によれば、皮膚温度が46℃の状態が50分続くと低温火傷を発症し、就寝時のような無意識下で皮膚温度が46℃に達していると、長時間温度を認識できないまま低温火傷に至る可能性があるとのことであった。●使用者が就寝時の布団の中で使用が禁止されている当該製品を使用したことから、低温火傷に至ったものと推定されるが、当該製品及び当該製品を入れて使用していた足首用ホルダーを確認できなかったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/04/06)
A201800174 2018-0476 2017/11/30 (事故発生地) 京都府	ライター（ガス注入式） 新富士パーナー（株） RZ-520YL	車両内で当該製品を使用後、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。（A201700588と同一事故） (火災)	調査の結果、○使用者が自動車内で当該製品を使用してコーキングガンの先端を曲げる作業を行い、作業完了後に当該製品を車内に置いてドアに鍵を掛け、その場を離れたところ約15分後に出火した。○当該製品は、ガスの補充が可能なターボライターである。○当該製品は著しく焼損しており、外郭樹脂が溶融していた。○燃料を再充填したところ、漏れは認められなかった。○内部を確認したところ、ガス量調整バルブ周囲に異常は認められず、異物の混入は認められなかった。○同等品を入手できなかったため、ガス量調整バルブの開き量については比較できなかった。○車内の配線や当該製品の周辺に置かれていた電子タバコ及びモバイルバッテリーに異常は認められなかった。●当該製品の焼損は著しく、詳細な使用状況が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/06/28)

経済産業省及び消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は消費者庁 受付年月日
A201800442 2018-1224 2018/10/06 (事故発生地) 東京都	バッテリー（リチウムイオン、電動工具用） ボッシュ（株） A3640LIB	事務所で当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。	当該製品のリチウムイオン電池セルが異常発熱し、出火したものと推定されるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/11/02)
A201800443 2018-1229 2018/08/26 (事故発生地) 大阪府	神具（しよく台） トモエ陶業（株） なし	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品の取扱説明書に適切なろうそくの大きさに関する具体的な記載がなかったため、不適切な大きさのろうそくが使用されて不安定な状態となり、使用者が火を消さずにその場を離れていた際に転倒して周囲に延焼したものと推定される。なお、ろうそくの取扱説明書には、「火をつけたまま離れない。」旨、記載されている。	再発防止措置として、トモエ陶業（株）は、平成30年12月より取り扱い注意のしおりに、ろうそくの大きさに関して「ろうそくのサイズはろうそく立の2/3以下の高さが目安です。」旨、追記している。	(受付:2018/11/02)
A201900486 2019-1136 2019/07/29 (事故発生地) 大阪府	バッテリー（リチウムイオン、電動アシスト自転車用） 神田無線電機（株） KMD-BT6	駐輪場で当該製品を焼損する火災が発生した。	当該製品の結露対策が不十分であったため、制御基板上の絶縁性能が低下し、異常発熱して周辺の焼損に至ったものと推定される。	輸入事業者である神田無線電機（株）は、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）12月15日にホームページに情報を掲載し、対象バッテリーについて無償で製品交換を実施している。	(受付:2019/09/17)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	経済産業省又は 消費者庁 受付年月日
A201700528 2017-1312 2015/01/15 (事故発生地) 新潟県	眼鏡フレーム 青山眼鏡(株) MB-4457	当該製品を使用していたところ、先セル(耳当て)の接触部分に皮膚炎を発症した。 (重傷)	調査の結果、○使用者は、当該製品の先セル部でのパッチテストで陽性反応を示した。○当該製品の先セル部からの抽出物を分析、定性できた各物質(フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、ポリエチレングリコールモノドデシルエーテル(n=5-)、ポリエチレングリコールモノドデシルエーテル(n=20-))を用いたパッチテストは、全て陰性であった。●当該製品を用いたパッチテストを実施した結果は陽性であったことから、当該製品との接触により皮膚炎を発症したものと考えられるが、原因物質は不明であり、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2017/11/24)
A201800075 2018-0251 2018/04/12 (事故発生地) 滋賀県	マスク 白元アース(株) KGN-MR3A	当該製品を使用したところ、顔に皮膚障害を発症した。 (重傷)	調査の結果、○使用者が前日の夜に当該製品を使用し、翌日に当該製品と接触していた顔の部位が腫れ、頭痛とめまいを感じたため医療機関を受診したところ、当該製品によるアレルギーであると診断された。○当該製品は、解体調査ができなかった。○当該製品の外觀に異常は認められなかった。○同等品から感作性のあるパラベン及びポリエチレングリコールが検出された。○当該製品及び同等品によるパッチテストは使用者の希望により実施できなかった。○使用者は、以前から繰り返し当該型式品を使用していたが、これまでに異常はなかった。●当該製品の解体調査ができなかったため含有成分は不明であり、パッチテストが未実施であるため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	引き続き同様の事故発生について注視していくとともに、必要に応じて対応を行うこととする。	(受付:2018/05/21)

経済産業省及び 消費者庁管理番号 NITE管理番号 事故発生年月日	品 名	事 故 通 知 内 容	事 故 原 因	再 発 防 止 措 置	経 済 産 業 省 又 は 消 費 者 庁 受 付 年 月 日
A201800535 2018-1453 2018/10/21 (事故発生地) 兵庫県	運動器具（チューブを使用 した運動器具） （株）ジャパーナ I G S エキスパンダー	店舗で当該製品を使用中、当該製品の チューブが外れ、傍にいた者に当たり、 右目を負傷した。 (重傷)	当該製品の本体に注意警告表示が記載されて おらず、不特定多数が使用する環境下で見本と して置かれていたにもかかわらず、販売店から 使用上の注意に関する情報が提供されなかった ため、使用者がゴムチューブの固定が不十分で あることを認識できずに当該製品を伸縮させた 際にゴムチューブがグリップから抜け、反発力 によってゴムチューブが近くにいた者に当たっ たものと推定される。	再発防止措置として、（株）ジャパーナ は、販売店にある在庫品及び今後生産する 製品本体に注意喚起シールを貼付すること とした。また、パッケージに記載している 取扱説明書の警告表示を今後生産する分よ り強化することとした。	(受付:2018/12/10)